

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費	所属	0101012600-0000 教育総務課
事業	大 0127 少人数学級実施県負担金 (簡略番号：014042)						
	中						
	小						
事業期間	平25. 4. 1～平26. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	未設定	事業の種類	未設定				
補助単独区分		目的区分	教一小学校費				

区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	14,000	9,000	5,000	9,000	23,876
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	14,000	9,000	5,000	9,000	

【事業概要】

【事業費内訳】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】
 1、2年生は30人以下、3年～6年は33人以下で学級編制をするため、配置が必要となる県費負担教職員の人員費等のために県協力を負担する。

【事業の必要性】
 公立小中学校の学級編制は義務標準法により1学級40人（1年生35人）であるが、きめ細やかな教育を実践し、学力向上および児童をとりまく諸課題に対応するため、少人数編制が必要である。

【実施期間】
 当該年度

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
 【第2次総合計画】次代を担う心豊かな人が育つまちづくり(学校教育の充実)

5. 本年度の計画効果
 次の学年に県協力を負担
 羽合小 3年生 (200万円)
 泊小 4・6年生 (4年 500万円、6年 200万円)
 東郷小 3年生 (500万円)
 ○学習中に児童一人ひとりの理解度や作業の様子を把握しやすく、声をかけることや場に応じた支援を行うなど細やかな対応ができる。
 ○生活の中で忘れ物が多い子、ルールが守れない子、友だちとの関係づくりがうまくいかない子などについて、人数が少ないために子どもたちや保護者との話し合いも十分にとることができる。
 ○平成24年度において1学期に起こっていた対人的トラブルも徐々に減少し、基礎学力の定着についても「学校の授業、提出物・宿題などにしっかり取り組んでいる」と95%の生徒が回答するなど、少人数学級編成による効果が着実に表れている。

6. 財源の説明
 【一般財源】14,000,000円

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 原材料費		
02 給料			17 公有財産購入費		
03 職員手当等			18 備品購入費		
04 共済費			19 負担金、補助及び交付金	14,000	14,000
05 災害補償費			20 扶助費		
06 恩給及び退職年金			21 貸付金		
07 賃金			22 補償、補填及び賠償金		
08 報償費			23 償還金、利子及び割引料		
09 旅費			24 投資及び出資金		
10 交際費			25 積立金		
11 需用費			26 寄附金		
12 役務費			27 公課費		
13 委託料			28 繰出金		
14 使用料及び賃借料			予備費		
15 工事請負費			合計	14,000	14,000

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	補助基本額	補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部	章	節	細節	実施計画計上額

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費
事業	大 0124 少人数学級実施県負担金 (簡略番号：020031)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	平25. 4. 1～平26. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一中学校費		

所属	0101012600-0000 教育総務課				
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,000		2,000		6,969
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,000		2,000	

【事業概要】

【事業費内訳】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 1年生は33人以下、2年～3年生は35人以下で学級編制するため、配置が必要となる県費負担教職員の人件費等のために県協力金を負担する。
【事業の必要性】
 公立小中学校の学級編成は義務標準法により1学級40人であるが、きめ細やかな教育を実践し、学力向上及び児童をとりまく諸課題に対応するため、少人数編制が必要である。
【実施期間】
 当該年度

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第2次総合計画】 次代を担う心豊かな人が育つまちづくり (学校教育の充実)

5. 本年度の計画効果
 次の学年に県協力金を負担
 北浜中 2年生 (2,000千円)
 ①学習中に生徒一人ひとりの理解度や作業の様子を把握しやすく、声を掛けることや場に
 応じた支援を行うことができるなど細やかな対応ができる。
 ②日常生活の中で忘れ物が多い生徒、ルールが守れない生徒、友達との関係づくりがう
 まくいかない生徒などについて、目配りができるとともに生徒たちや保護者との話し合
 いも十分にとることができる。

6. 財源の説明
【一般財源】 2,000,000円

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 原材料費		
02 給料			17 公有財産購入費		
03 職員手当等			18 備品購入費		
04 共済費			19 負担金、補助及び交付金	2,000	2,000
05 災害補償費			20 扶助費		
06 恩給及び退職年金			21 貸付金		
07 賃金			22 補償、補填及び賠償金		
08 報償費			23 償還金、利子及び割引料		
09 旅費			24 投資及び出資金		
10 交際費			25 積立金		
11 需用費			26 寄附金		
12 役務費			27 公課費		
13 委託料			28 繰出金		
14 使用料及び賃借料			予備費		
15 工事請負費			合計	2,000	2,000

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額		補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画
	章			計上額
	節			
	細節			